

【 大動脈外科 】教育進行過程

外回り
4ステップ

	STEP1-①			STEP2-①	STEP2-②	STEP3-①	STEP3-②	STEP3-③	STEP4-①	STEP4-②
	STEP1-①	STEP1-②	STEP1-③	STEP2-①	STEP2-②	STEP3-①	STEP3-②	STEP3-③	STEP4-①	STEP4-②
目標	【サポート①】 1.大動脈の解剖と術式に応じた適応と疾患について理解できる 2.正中・ラテの圧バッグとCV、SVG準備ができる 3.術前の情報収集と術前訪問ができる	【サポート②】 1.VラインとAライン挿入介助ができる 2.CV,SVG介助ができる	【サポート③】 1.外回りと連携して麻酔導入～ドレーピングまで一連の流れに沿って介助できる	【正中】 1.正中の部屋準備ができる 2.挿管介助ができる 3.仰臥位の良肢位と注意点を理解し体位固定ができる 4.麻酔導入～ドレーピングまで一連の流れに沿って介助できる	【ラテ】 1.ラテの部屋準備ができる 2.分離肺換気とダブルルーメンチューブについて理解し、挿管介助ができる(チューブの入れ替え含む) 3.側臥位の良肢位と注意点を理解し、体位固定ができる 4.麻酔導入～ドレーピングまで一連の流れに沿って介助できる 5.CSFDの外回り業務ができる	【正中】 1.人工心肺の仕組みを理解できる(左心バイパス含む) 2.ADの疾患と適応、術式を理解できる 3.術野の流れに沿って術中の外回り業務ができる	【ラテ】 1.術野の流れに沿って術中の外回り業務ができる	【AAAR】 1.硬膜外麻酔について理解し介助できる 2.術野の流れに沿って術中の外回り業務ができる	1.術式に応じた必要物品がわかる 2.ARR,AVR,CABGの術野の流れに沿って術中の外回り業務ができる	1.緊急手術の迅速な受け入れと対応ができる 2.術前・術中・術後の急変対応ができる
術式	HAR、TAR DSR、胸腹	HAR、TAR DSR、胸腹	HAR、TAR DSR、胸腹	HAR、TAR	DSR、胸腹	HAR、TAR、AD(A)	DSR、胸腹	AAAR	ARR、AVR、CABG	
取得予定 経験数	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 1回	見学 0回
	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 2回目から実施	実施 1回目から実施	実施 1回目から実施
	評価 正中:3回目 ラテ:5回目	評価 5回目	評価 10回目	評価 5回目～	評価 5回目～	評価 5回目	評価 5回目	評価 5回目	評価 2～5回目	評価 2～5回目
初級									中級	
約1ヶ月									約1ヶ月	

備考

* ステップ評価は手術室経験のある(心外経験は含まない)既卒者をモデルとしている。また、初級～中級まで1か月を目安とする。

* 術中外回り業務は一連の流れを通して、いずれかの症例を1回見学、移行は既卒者の進捗状況に応じて評価する。

* 『STEP2-②』胸腹症例の外回り業務には、スパイナルドレナージの適応と必要性の理解、術後の挿管チューブの入れ替え介助を含む。

* 『STEP3-③』AAARの外回り業務には抜管介助、麻薬伝票破棄届の処理、末梢神経ブロックの介助を含む。

* スパイナルドレナージと大外形形成外科手術の外回り業務は症例が限られるため、既卒者の進捗状況に応じて指導する。